

～次世代モビリティ と まちづくり～

2027年、リニア中央新幹線開通！

リニア時代を見据え、甲府・飯田・中津川市長が、新駅を核とした、これからのまちづくりの可能性について、意見交換を行います。

リニア時代 を見据えた まちづくり シンポジウム

入場無料

▶第一部 13:05～ 基調講演

講演者

森川 高行 教授 【名古屋大学 未来社会創造機構】

服部 敦 教授 【中部大学 工学部】

▶第二部 14:05～ パネルディスカッション

コーディネーター

森川 高行 教授 【名古屋大学 未来社会創造機構】

パネリスト

樋口 雄一 【甲府市長】 牧野 光朗 【飯田市長】 青山 節児 【中津川市長】

長谷川 周夫 【中部圏広域地方計画推進室長 中部地方整備局副局長】

▶次世代モビリティの展示・試乗体験

展示
車両

■自動運転車 YG-M (ヤマハモーターパワープロダクツ株)



■小型モビリティ TRITOWN (ヤマハ発動機株)

i-ROAD・立ち乗り型パーソナルモビリティ (トヨタ自動車株)
COMS (トヨタ車体株)



■燃料電池自動車 MIRAI (豊田市)

試乗
体験

■自動運転車 AR-04 (ヤマハモーターパワープロダクツ株)

試乗車両



■超小型モビリティ



COMS (トヨタ車体株)



■VR 【バーチャルリアリティによる疑似体験】



VR-CAR (株デンソー)

▶リニア時代を見据えたまちづくり・モビリティ パネル展

日時：平成30年 11月29日(木) 13:00～17:00 (開場 12:30)

場所：ポートメッセなごや 第2展示館 名古屋市港区金城ふ頭2-2

駐車場は用意しておりません。会場へは公共交通機関でお越しください。

定員
400名
(先着順)

主催 中部圏広域地方計画推進室(国土交通省中部地方整備局内)

リニア時代を見据えたまちづくりシンポジウム

プログラム

13:00	開会挨拶	
13:05	第一部 基調講演① 「自動運転がもたらすモビリティの変化」	 <p>名古屋大学 未来社会創造機構 教授／名古屋大学COI 研究リーダー 森川 高行 1981年京都大学工学部卒業。同大学院修士課程修了、マサチューセッツ工科大学(MIT)大学院博士課程修了後、2000年から名古屋大学大学院教授。専門は、交通計画、次世代モビリティ、都市計画、消費者行動論。国土交通省スーパー・メガリージョン構想検討会委員会を務める。</p>
13:30	基調講演② 「リニア開通、次世代モビリティがもたらすまちの変化」	 <p>中部大学 工学部 教授 服部 敦 1991年東京大学工学部卒業後、建設省入省(現国土交通省)、内閣官房に出向し特区・地域再生を担当。2007年から中部大学教授。専門は都市デザイン・都市計画・まちづくり・地域政策。2013年より春日井市市政アドバイザーに就任し、高蔵寺ニュータウンのまちづくりを担当。</p>
14:05	第二部 パネルディスカッション 「リニア時代を見据えたまちづくり」	 <p>甲府市長 樋口 雄一 1983年専修大学を卒業後、1999年山梨県議会議員に初当選し、4回当選。2007年から2年間第104代山梨県議会副議長を務め、2015年に甲府市長に就任。</p>
16:00	閉会 ※モビリティの展示・試乗及びパネル展は17:00まで	

会場周辺地図



申し込み要領

入場無料・定員400名

- 当日でもご参加できますが、席に限りがありますので、電話、ファックス、メールのいずれかの方法でお申し込みください。
- 締め切りは**11月22日(木)**まで。ただし、定員に達し次第締め切らせていただきます。
- 申込者の個人情報は当シンポジウムの運営目的に使用するものであり、主催者が安全に管理し保護を徹底します。法令に基づく場合などを除き、第三者に開示・提供することはありません。

・ファックスでお申し込みの場合は、下記に記載の上、この部分を切り取らずにそのまま送信してください。

所属または住所	役職・氏名	電話(連絡先)

問い合わせ・
申し込み先

中部圏広域地方計画推進室(国土交通省中部地方整備局建政部計画管理課内)

〒460-8514 愛知県名古屋市中区三の丸2-5-1

TEL:052-953-8571

FAX:052-953-8605

Mail:cbr-cb-keisei@mlit.go.jp